

保護者の皆様へ

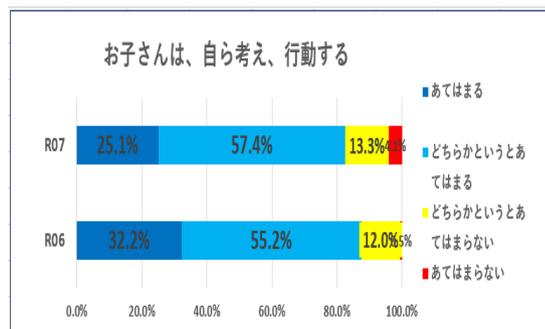
千曲市立埴生中学校

2学期末に、保護者の皆様に「埴生中学校の教育に関するアンケート」を実施させていただきました。多くの皆様に回答をいただき、ありがとうございました。
 ここでは、学校目標と重点目標の達成度について、生徒に実施したアンケート結果も含めご報告します。また、保護者の皆様に書いて頂いたご意見と回答について、抜粋したものを載せましたのでご覧ください。

令和7年度 学校自己評価の報告

1 令和7年度 学校目標「自主自律」について

右グラフは、保護者アンケートの項目「お子さんは、自ら考え自ら行動しているか」の回答結果です。昨年度よりも「よくあてはまる」「あてはまる」と肯定的に評価した回答が若干減っていますが、子どもたちの成長を家庭でもしっかりと評価していただいていることが伺えます。



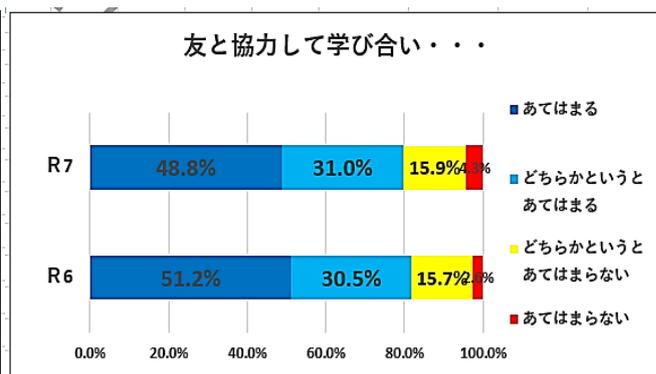
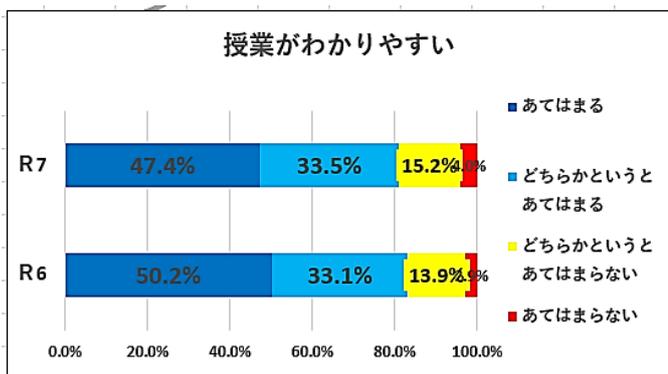
2 本年度の重点目標から

「変化に対応する力」「課題を解決する力」「発信する力」

- 1 「chromebook を活用した仲間との学び合い」
 - 全ての教科「主体的・対話的で深い学び」の授業改善
 - 学び合い「受援」「傾聴」「発信」を大切にされた授業づくり
 - 「振り返り」による、「学びの価値付け」や「自己変容の自覚」の育成
- 2 総合的な学習の時間「おおとり学」
 - ふるさと学習における探究的な学び
 - キャリア教育の充実
 - 持続可能SDGsな学校づくり
- 3 多様な学びの場
 - 多様な生徒の学びの場の保障
 - 「自学と相談」ウェルビーイングチェック
 - 放課後学習 みらいタイムの推進

学び合い

左下グラフは、「わかりやすい授業、達成感、成就感を味わえたか？」についての結果で、肯定的な回答が81%で昨年度並みとなりました。右下グラフの「友と協力して学び合い、課題を深く追究できたか」についても肯定的な回答が、約80%で昨年度並みとなりました。令和4年度より継続して力を入れて取り組んでいる「クロームブックを活用した4人グループによる学び合い」や今年度全職員で大切にしてきた「振り返り」による、「学びの価値付け」を実践したことにより、授業で達成感、充実感を味わい、友との学び合いを楽しみにしていると評価できます。また、友との学び合いを通して、見方・考え方の共通点、相違点を理解することで、自分の考えが広まったり、深まったりしていると考えられます。



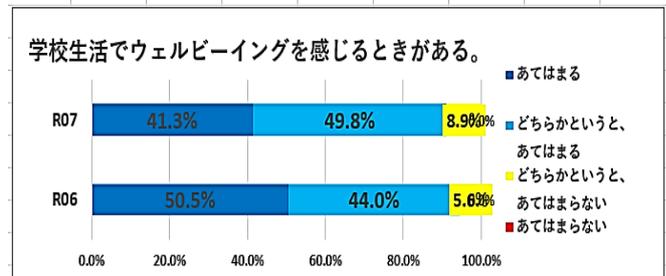
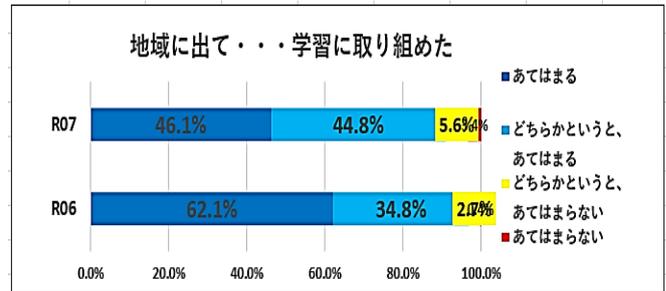
地域学習・ウェルビーイングに関するアンケート結果

右上グラフは、「地域学習（総合的な学習）の取り組み」についての結果です。また、右下グラフは、「学校生活でウェルビーイングを感じる時があるか」についての結果です。どちらも生徒の肯定的な回答が概ね9割以上あります。昨年度から実施している1日総合では、今年度は半日総合となりましたが、どの学年も地域に出て『ひと・もの・こと』に触れて、地域のよさを再発見したり、地域をよりよくしたいという学習に取り組めたりした様子が伺えます。

また、重点目標である「すべての生徒にとってウェルビーイングな殖生中」に向け、スクールミーティングで生徒も教師も意見を出し合ったり、全職員が一枚岩となり日々授業改善、生徒理解・支援を丁寧に行ったりすることで、多くの生徒がウェルビーイングを感じることができていると評価できます。

下のグラフは、ウェルビーイングを感じる場面についてのアンケート結果です。項目を『授業中』『交流会（生徒集会）』『友達との関わり』『部活動』『行事』『その他』にして、複数回答可で答えてもらいました。一番多かったのが『友達との関わり』でした。第3位の場面となった交流（生徒集会）では、今年度生徒会での交流集会（ペア・グループ活動）や、おおとり祭の体育祭でのクラスや学年の枠を超えた交流が多く企画されて、それを楽しみにしていることがわかります。

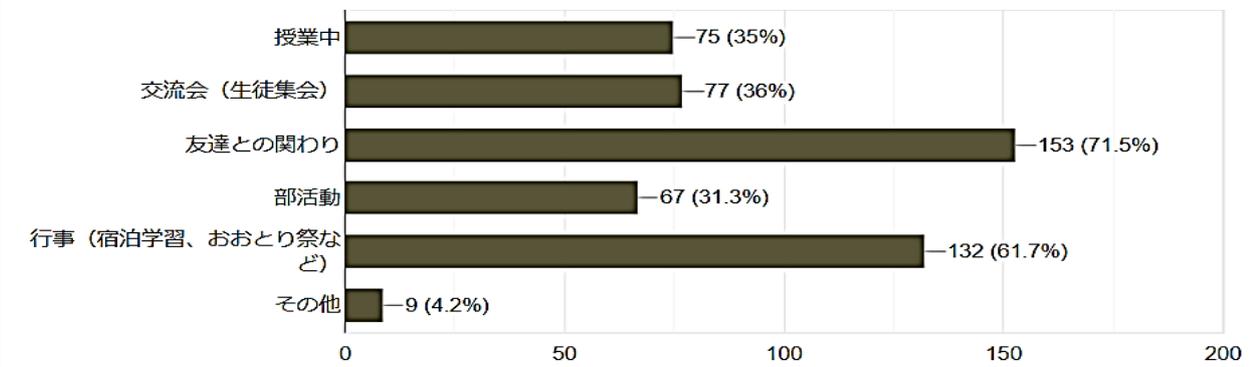
来年度も総合的な学習などを通じた「地域学習への取り組み」「すべての生徒にとってウェルビーイングな殖生中」を重点活動に据え、充実した学校生活、多様な学びの場を保障し、各教科や総合的な学習をさらに充実させたいと考えております。



☆具体的にどんな場面でウェルビーイングを感じたか教えてください。

* 複数回答可

214 件の回答



気になるアンケート結果

今年度の学校運営の柱である、「chromebookを活用した仲間との学び合い」、「地域学習」については、生徒は高く評価しているのですが、職員の割合は、16%～40%の差があります。特に「地域学習」は、昨年度は1日総合であったのが、半日総合になったり、悪天候で、屋代駅周辺の地域清掃が中止になったり、活動の幅や内容が減ってきていることが、影響しているかもしれません。しかし、生徒は、地域学習を楽しみにしていることがわかるので、今後も教材研究、地域のひと・こと・ものを大切に活動や実践を行っていく必要があると考えます。

「chromebookを活用した仲間との学び合い」は、今後も継続し活用方法などを模索しながら、有効活用し、授業改善に役立てていきます。

II 学習面について

No.	質問内容	職員	生徒	保護者
1	各教科の授業は分かりやすい。	91.3%	90.5%	69.2%
2	授業の内容が理解できた。	91.3%	90.5%	62.6%
3	授業では、ねらいやゴールが示されている。	91.3%	87.5%	
4	授業の終わりに、授業を振り返る場や学習した内容をまとめる時間がある。	79.2%	93.1%	
5	授業の中に、自分の考えを説明したり、発表したりする場面がある。	73.9%	83.2%	
6	分からない問題があった時に、先生に質問に行った。	83.3%	75.0%	
7	テスト勉強や授業の復習など宿題以外の学習を頑張った。	75.0%	85.3%	48.2%
8	chromebookを授業で活用して学習する場面がある。	79.2%	95.3%	
9	授業の中に、4人グループで仲間の考えを聞き合ったり、課題解決する場面がある。	69.6%	94.8%	
10	A4グループでの授業では、意見を発表したり、異議に反対したりすることを期待しているため、楽しんで取り組めた。	70.8%	87.1%	
11	地域に出て、ひと・もの・ことに出会い、地域のよさを知り、よりよい地域に、よりよく学習に取り組めた。	50.0%	90.9%	60.5%
12	学校生活の中でウェルビーイングを感じる時がある。		91.1%	

2 精一杯活動

＜精一杯清掃できたか＞

清掃については、昨年度同様に約9割は肯定的な回答がありました。令和4年度から黙想を復活させ、心を落ち着かせてから清掃を行うようにしました。今年度は、環境委員会中心に、期間を決めて取り組みの様子を振り返ったり、素敵な清掃をしている分担場所を紹介したりしました。その結果、清掃に一生懸命取り組む生徒が多いたと考えられます。ただ、先生方の生徒への肯定的な評価は、低くなっていました。原因が何か、委員会やスクールミーティングなどで扱い、意見を出し合い、取り組みの差が生じないように、引き続き「清掃してよかった」「気持ちよかった」という成就感・達成感を味わうことができるように推進していきたいです。

＜挨拶ができたか＞

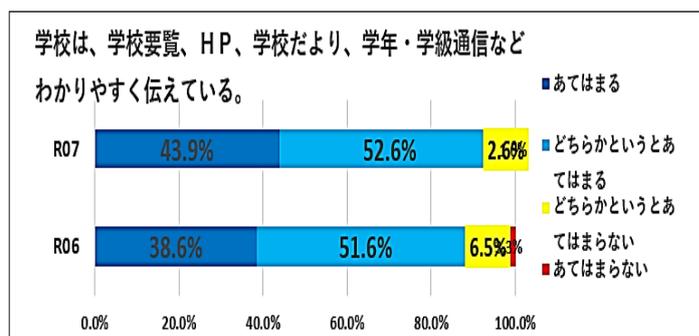
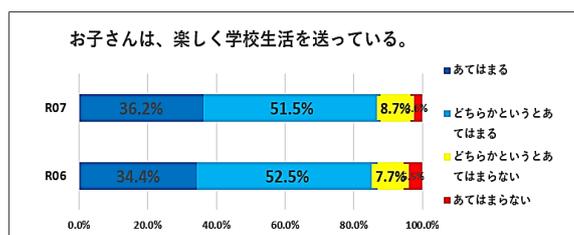
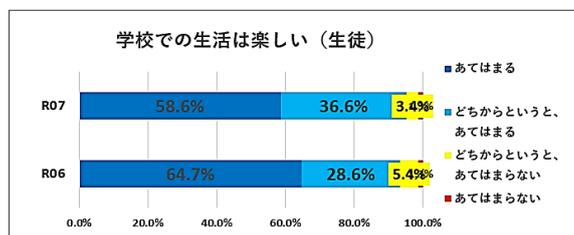
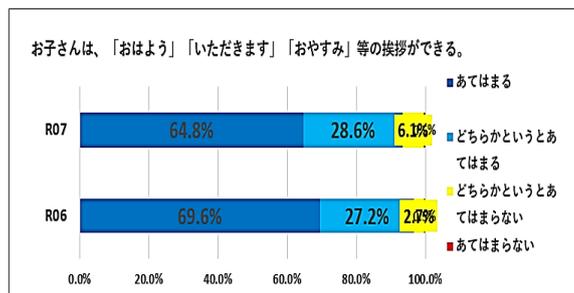
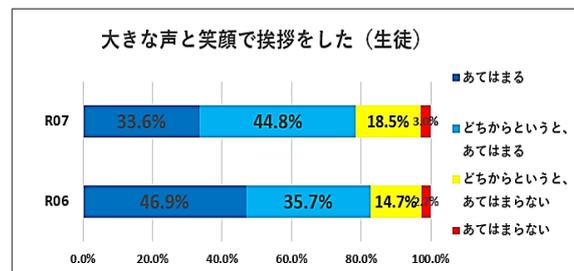
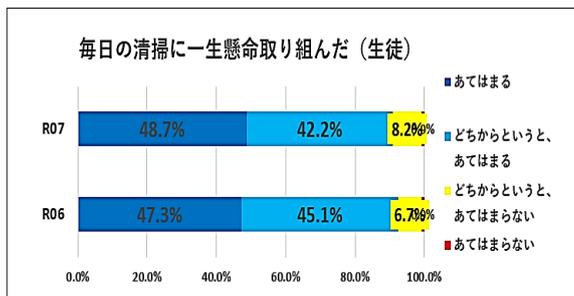
「大きな声と笑顔で挨拶ができたか」（保護者には、「家庭で『おはよう』『おやすみ』等の挨拶ができてるか」）の調査結果です。生徒・保護者共に、昨年度同様に肯定的な回答が9割を超え、家庭でのあたたかな対応の成果と考えられます。また、総合的な学習などで地域に出る活動も多く、挨拶が大切に行われていることも成果として考えられます。新生徒会でも、挨拶を盛り上げる活動を企画して行うようなので、学校においても、場に応じた気持ちよい挨拶ができるよう、「挨拶の質」をさらに向上させていきたいです。

＜学校は楽しいか＞

「学校での生活は楽しいか（生徒）」「毎日元気良く登校しているか（保護者）」の調査結果です。昨年度に比べ、生徒の肯定評価は若干増えています。本年度は、年2回の半日総合や生徒会企画交流集会、スクールミーティングがあり、生徒の意見を大事に、行事や日々の学校生活ができ、満足度が上昇していると考えます。しかし、中には「あまりそう思わない」と感じている生徒もいます。生徒一人ひとりに寄り添い、友達関係等、生徒の変化をしっかりと見守り、家庭と連携して支援をすすめてまいります。

3 その他（情報公開について）

右のグラフは、保護者に対して「要覧、ホームページ、学校だよりなどで、学校の様子などを分かりやすく伝えているか」の回答結果です。「あてはまる」が5%増となり、昨年度同様に、9割以上を超える方々に肯定的評価を頂いております。定期的な学校・学年・学級通信の発行などで、学校の様子がタイムリーに伝わっていると評価できます。また、Home&School等の活用で、色々なお知らせやアンケートがWeb上ででき、教師、保護者ともに上手く利活用できていると評価できます。今年度は、昨年度の学校評価の意見を参考に、学級閉鎖の情報を全校に発信させていただきました。さらに、よりよい活用方法を模索しながら、学校の連絡や様子を学級・学年・学校だより、ホームページや、H&S等で情報提供していきたいと思ひます。



<全国学力学習状況調査（3年生4月実施）の結果>

千曲市が公表した結果は右の表の通りになります。本校は、国語・数学・理科ともに全国、長野県と同程度という結果になりました。

本校の課題として、「基本的な知識の定着と活用」と、「自分で学んだ内容や考えたことを整理してアウトプットすること」があげられます。「基本的な知識の定着と活用」については、予習・復習を大切に、単元ごとつながった学びになるよう授業を展開するようにしています。また、「自分で学んだ内容や考えたことを整理してアウトプットすること」については、「自分の考えを発表できる場を設ける」「ロイロノートでの共有や全体の場面での比較、学び合いの場を授業に位置づける」などを意識的に行っていくことを職員で共有しました。

調査科目	平均正答率の比較・調査結果の概要	今後の取組
中学校3年生	○全国・長野県と同程度 昨年度の感想から工夫を行った中学校の美術展のチラシの文章を書くなどの記述式の問題を含め、全国と比較して、正答率が大きく低い問題、無答率が高い問題は見られませんでした。	引き続き、何のために書いたり話したりするのかという目的を明確にした学習活動、どんな力をつけていくのかを教師、生徒で共有して進めていく授業を行っていきます。
	○全国よりやや下回る・長野県と同程度 じゃんけんゲームで「グー」「チョキ」「パー」「パー」のカードをもったAと「グー」「チョキ」をもったBの勝ちやすさの理由について、確率を用いて説明する問題は全国と同様に課題が見られます。	具体物を使って実際に操作しながら確かめてみる活動などを行い、確率を用いることの必要性やよさについて実感が伴った理解につながるような学習を充実させていきます。
	○全国・長野県と同程度 マグネシウムが二酸化炭素の中で燃焼する動画を見て、そこで起きた化学変化を原子や分子のモデルで表す問題で、全国と比較して正答率が高かったものの、全国的には課題とされました。	引き続き、疑問や振り返りを大切にする授業を充実させていきます。特に、自分の考えの変容について探究の各過程で記録していく、モデルを用いて実際に動かしながら考察するなどの指導を大切にします。

<ベネッセ総合学力検査（1，2年生4月実施）の結果>

右のグラフ（1）は、国語の領域別得点率で全国平均を100としたときの本校の結果を示したものです。これを見ると、1年生の国語では、「書くこと」以外ほぼ全国と同程度となりました。2年生の国語では、領域別の「話すこと・聞くこと」で全国平均を上回りました。1，2年生とも「書くこと」に課題が見えてきました。検査の結果を受け、生徒の実態に応じた支援に取り組んでいます。ICT利用を推進しているのですが、思いや考えを作文など紙に実際に書くことも大切にしていける必要性が感じられます。



右のグラフ（2）は、数学の領域別得点率で全国平均を100としたときの本校の結果を示したものです。これを見ると、1，2年生ともに、全ての領域で、ほぼ全国と同程度となりました。2年生の「データの活用」については、身近な問題を代表値（平均値、中央値、最頻値）などで分析したり、分析結果を共有し話し合ったりして、深く追究できるように取り組んだ成果がでていけると考えられます。



右のグラフ（3）は、英語の領域別得点率で全国平均を100としたときの本校の結果を示したものです。1，2年生ともに、全ての領域で、ほぼ全国と同程度となりました。2年生の、「書くこと」の領域で全国平均を上回りました。授業の中で、英文を書くことを大切にする場面を多くしたり、英語の先生やALTの先生に英文を読んでもらう機会を多くしたりした成果がでていけると考えられます。



3教科ともに、1年生では、小学校の問題が出題されているので、課題のある分野や単元で学び直しや補完をしながら授業を行っております。来年度その成果がでてくるとよいと考えて取り組んでいます。

保護者アンケート 自由記述欄へのおもなご意見（抜粋）と対応

～お褒めの言葉～

○いつもお世話になっております。限られた時間の中で、色々な面で多感な年頃の子供達と向き合い、それぞれの well being を考え対応してくださる先生方には感謝しております。在校生はもちろんですが、卒業生の事も気にかけて声を掛けてくださる事も、保護者としては嬉しく、有難いなと感じております。

○いつもありがとうございます。入学時は、現在のような姿はあまり想像することはできませんでしたので、本人が安心していられる場所が学校の中に見つかったことが嬉しく、また、本人なりのペースと距離感で学校との付き合い方を模索することをあたたかく見守って支えてくださっていると感じありがたく思っています。ひまわり教室で過ごすことを肯定しながら、原級とのいろいろな関わり方を提案していただけることも、本人にとっては良い刺激になっているのではないかと思います。

○竹腰校長先生の子どもへの眼差しがとても温かく、それが校内全体へ伝わっていると感じます。また来年も引き続きお願いしたいです。

～ご意見や要望～

<学習に関わること>

○授業中などの個々の生徒への対応について

⇒個々の支援方法や対応について全職員で確認、共有しました。すべての生徒が安心、安全に生活できるように生徒の不安や保護者の方のご意見に寄り添い対応していきたいと思えます。

授業に参加できない場合のリモート授業なども、有効に活用していけるように対応していきます。

○宿題・家庭学習について

⇒これまでは、家庭学習については、各教科や教科担任の先生にお任せして、出題内容等は生徒に示しておりました。今年度は、教科主任会や研究主任会で検討して、どのように日々の授業や家庭学習を行うか資料を作成し、生徒に説明できるようにしました。授業後に学習内容を確認できる家庭学習用のプリント配布や課題帳のページ指定、家庭でも学習したくなるような授業づくりや、授業改善にも力を注いでいきたいと思えます。ご家庭でも、様子をみていただき、ご指導いただければありがたいです。

<学校生活全般に関わること>

○服装（スーパークールビズなど）の対応について

⇒今年度のスクールミーティングでは、「シャツだし」や「運動着と制服の着替えのタイミングについて」をテーマにして、生徒や先生方の意見を全校で共有し、よりよい方向に変更してきました。今後も、気候変動などに考慮しながら、生徒が健康で、安全、安心して過ごせるように、スーパークールビズの期間を延ばしたり、衣替えの時期を変えたりすることも視野に入れて検討していく予定です。貴重なご意見ありがとうございました。

○学年、学級での生徒理解、支援について

⇒全ての生徒が安心、安全に生活できるように生徒の不安・困り感や保護者の方のご意見に寄り添い対応していきます。担任にすべての負担をかけるのではなく、朝のウェルビーイングチェックでの生徒理解・把握や「自学・相談」の時間で行ったように、全職員で相談にのり、日頃から丁寧に生徒を観て、適切な支援ができるようにしていきます。*教科授業についても同様